



伊藤 二實 さん

Ito Fumio

〔岩下一区〕

いとう ふみお / 甲佐町文化協会機関誌「ふるさと」編集委員長。自身の書道教室で指導を行う傍ら、本町の文化振興に尽力している。

文化協会の発展を支え 甲佐の文化振興に寄り添う

「甲佐町文化協会の機関誌『ふるさと』は私にとって『恩誌（師）』です。編集作業を行う中で、投稿者の知見や考え方を学ぶことができました」と話すのは、同機関誌の編集委員長を務める伊藤二實

男さん（岩下一区）。

『ふるさと』は、文化協会会員からの投稿や会員の活動などを紹介することを目的に、昭和52年4月創刊。10月に第100号発刊の節目を迎えた。「14歳で失聴して以来、本

を語る伊藤さん。

「発行を重ねるにつれて外部の方々との交流も拡がり、今では町外の方も会員として数多く参加されています。」

『ふるさと』への投稿がきっかけで他団体との交流につながったこともあります」と機関誌がつなぐ縁を思い起こす。

「寄せられた投稿を読むとき、手紙をもらったよううれしくなります。また、企画を練るのは苦勞も多いですが編集委員の皆さんの協力と知恵で実現できたことは楽しかったです」と編集のよるこびを語る。

これまでを振り返って「多くの投稿者や賛助会員の支援編集委員の協力のおかげで毎号内容を充実しつつ、第100号発刊を迎えることができ感無量です。家業のお店を留守にすることも多く、妻の支えにも感謝です」と感想を語る。「今後は、自身の書道活動を通して甲佐の文化振興に貢献していければ」と話す伊藤さんは、甲佐の文化振興にこれからも寄り添っていく。

広報 こうさ

2018年（平成30年）11月号
通巻592号